

【Easy Editor】ストラテジー作成ガイド

2014年4月1日版



目次

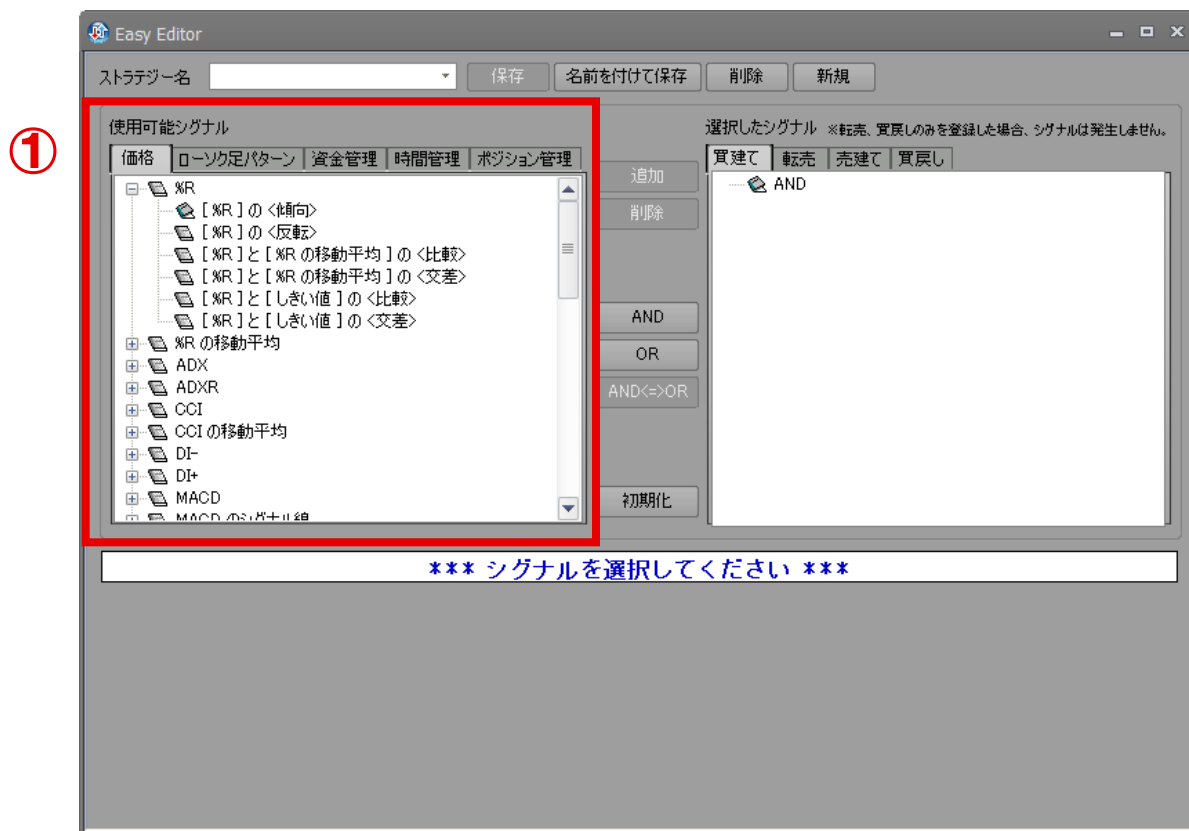
1. Easy Editorとは	3
2. ストラテジーをイメージしてみよう	8
3. 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう	13

I Easy Editorとは

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

■ Easy Editorとは

シストレFXナビゲーターログイン後、画面左上「システムトレード」⇒「シグナルチャート」を表示後、シグナルチャート画面上部の「ツール」より「Easy Editor」を。



Easy Editorは、シグナルチャートに搭載されているストラテジー作成ツールとなります。この画面からストラテジーの作成や、作成したストラテジーを変更する等の操作を行うことができます。Easy Editorは大きく分けて3つの項目から構成されております。

① 使用可能シグナル

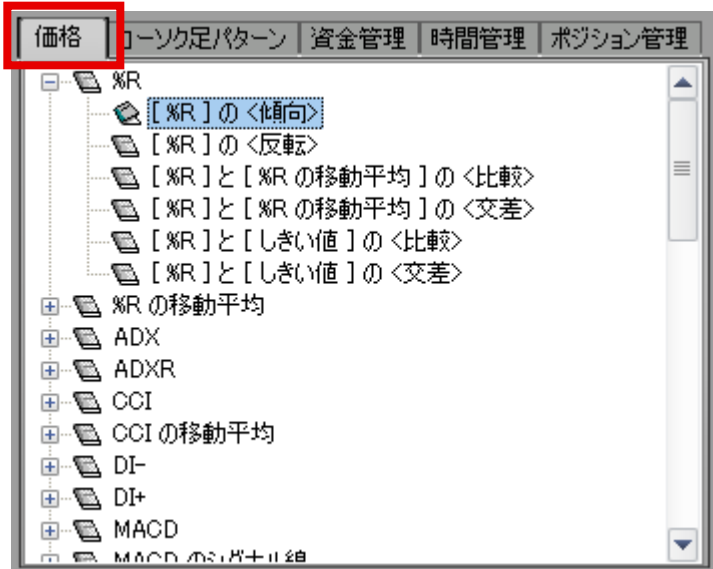
シグナルの発生基準のコマンドを選択する機能となります。

「価格」「ローソク足パターン」「資金管理」「時間管理」「ポジション管理」から構成されております。

「価格」や「ローソク足パターン」は主に新規建てや建玉の決済に使用します。「資金管理」や「時間管理」は利益目標やストップロスの設定を行うコマンドになるため、主に建玉を決済するときに使用します。

Easy Editorとは

②

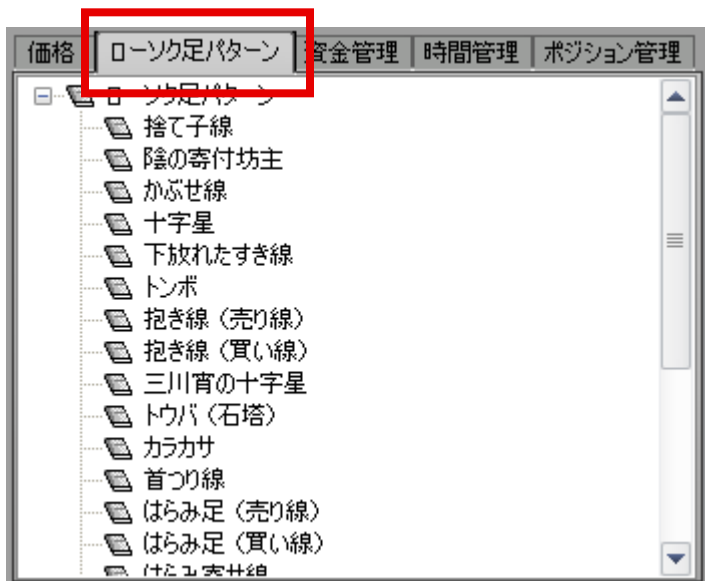


② 「価格」

移動平均やMACD等、お馴染みのテクニカル分析24種類に加え、それぞれのテクニカル分析を平均化した数値との設定が可能となります。

また、チャート上に表示している通貨ペアの価格との組み合わせや、価格自体の動きからパターンを形成し、それをシグナルとして活用することもできます。

③



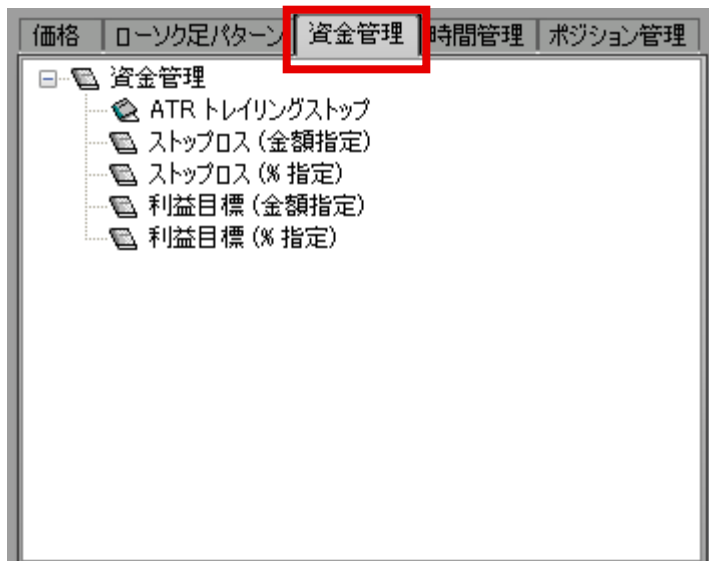
③ 「ローソク足パターン」

ローソク足パターンは、「酒田五法」によるパターン分析を用いたものとなります。価格の値動きによって形成されたローソク足のパターンからシグナルとするかどうかを判断します。

| Easy Editorとは

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

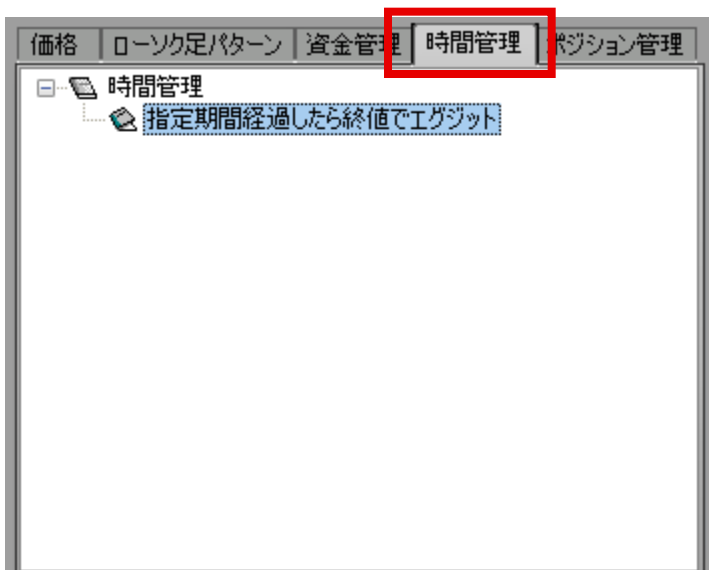
④



④ 「資金管理」

資金管理は、売買シグナルにより新規建てされた建玉のリスク管理に活用します。
選択できるコマンドはOR条件となるため、「利益目標」と「ストップロス」を組み合わせることで、OCOと同じような動作を行うこともできます。

⑤



⑤ 「時間管理」

時間管理は、先の「資金管理」と同様、売買シグナルにより新規建てされた建玉のリスク管理に活用します。

| Easy Editorとは

■ 選択したシグナル

ストラテジーは、「買建て」「転売」「売建て」「買戻し」によって構成されており、「買建て」と「転売」、「売建て」と「買戻し」または「買建て」と「売建て」あるいは全てのコマンドにシグナルを設定することで初めて機能します。

設定する内容によって、ストラテジーの動作も異なりますので、その辺りを十分に知っておく必要があります。



「買建て・売建て」

「買建て」と「売建て」は基本的には、この条件に達したらシグナルを発生するAND条件の設定が可能です。

「買建て」の場合、設定された条件に達したら、買い建玉を新規建てるための注文を発注します。発注する段階で、売り建玉がある場合は、その建玉を決済する注文も併せて発注しますので、その点をご留意ください。

「売建て」の場合は、設定された条件に達したら、売り建玉を新規建てるための注文を発注します。こちらも「買建て」と同様、発注する段階で、買い建玉がある場合は、その建玉を決済する注文も併せて発注します。「買建て」と「売建て」の組み合わせでは、売り買いそれぞれのシグナルが発生する度にドテンを行う、という動きになります。

| Easy Editorとは

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.



「転売・買戻し」

「転売」と「買戻し」は、この条件に達したらシグナルを発生するAND条件の設定が可能のほか、利益あるいは損失がいくらになったかでシグナルを発生するOR条件の設定も可能です。主に決済としての動作となるため、上記のようなドテンとなる動きにはなりませんので、その点ご注意ください。

ストラテジーの動作として、新規建ては常に「買い」から、もしくは「売り」からスタートしたい。あるいは次のシグナルが発生する前のリスク管理として、予め利益確定または損失限定の設定を行う等、用途は様々です。

■ 選択したコマンドのパラメータ設定

[価格の移動平均 1] と [価格の移動平均 2] の <交差>

条件		パラメータ			
価格の移動平均 1	が	価格の移動平均 1	価格の移動平均 2	価格 1	価格 2
価格の移動平均 2	を	価格 1	価格 2	終値	終値
上抜け	たとき	計算方法 1	計算方法 2	単純	単純
<input type="checkbox"/> シグナルを維持する	有効期間	期間 1	期間 2	5	20

例: [価格の移動平均 1] と [価格の移動平均 2] の <交差>

選択したシグナル、そして実行するコマンドに対してのパラメータ設定を行う画面となります。上記の画面は、移動平均の5日線が20日線を上抜いたときにシグナルを発生する内容となります。

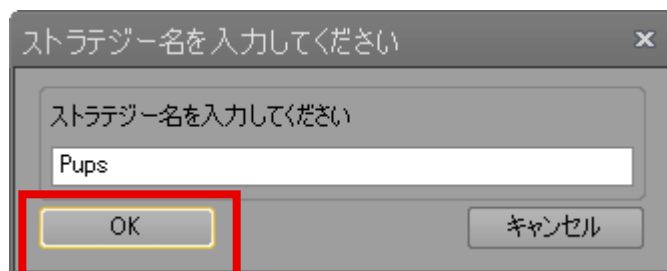
2 ストラテジーをイメージしてみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

■ ストラテジーをイメージしてみよう

ストラテジーを作成するにあたって、どのようなストラテジーにするのかイメージしてみましょう。基本的には、「価格」や「テクニカル分析」の結果があり、その動きによって、どのようにエントリー（新規建て）を行い、エグジット（決済）をするか、となります。ここでは、「価格」がある程度下落したら、「買建て」を行い、買い建玉がある一定の水準に達したら、またはある一定の時間が経過したら「転売」するイメージでストラテジーを作成していきます。

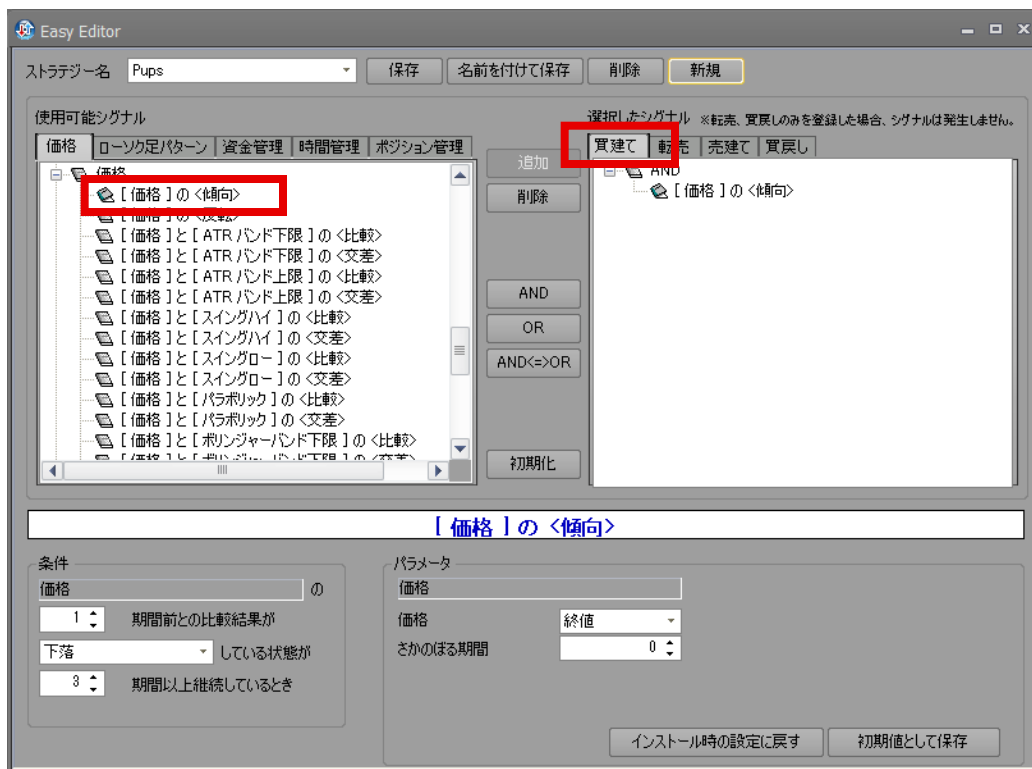
- ① ストラテジーを作成する前に、まずEasy Editorの「新規」ボタンを押下し、ストラテジーの名称を決める必要があります。
名称が決まりましたら、「OK」を押下し、いよいよ設定を行っていく形となります。



2 ストラテジーをイメージしてみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

② 「価格」がある程度下落したら、「買建て」を実行する



「価格」が下落している動きを見る分には、移動平均やMACDをシグナルとして使用することも考えられますが、「価格」の動きそのものをシグナルとして使用することも可能です。

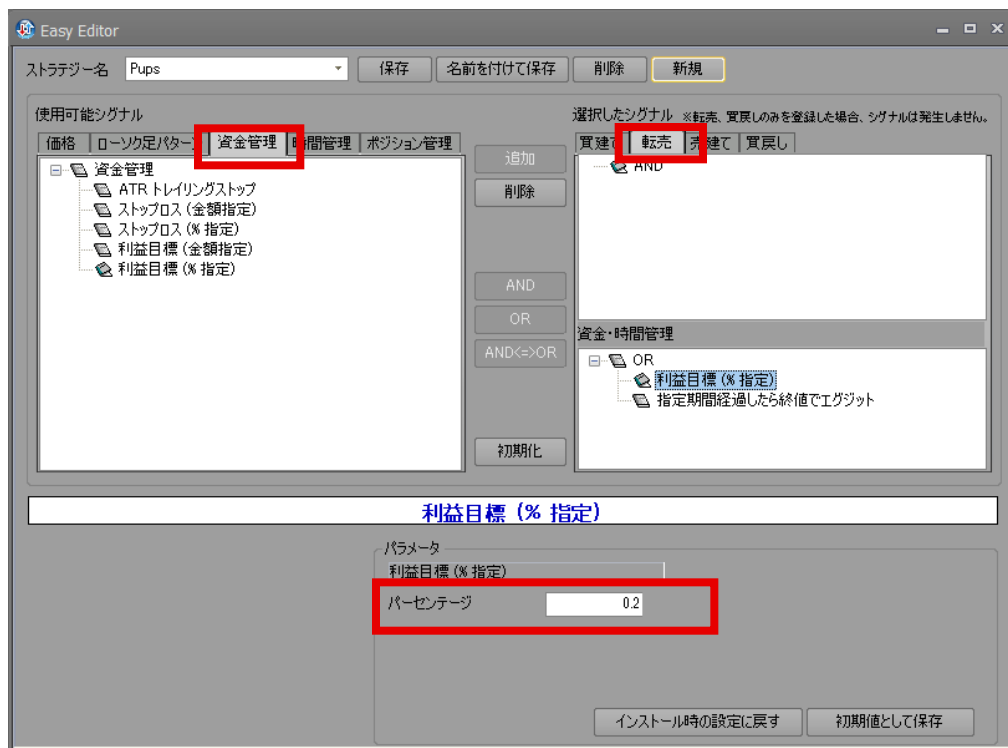
「価格」の<傾向>は、指定した期間前の価格と比較し、下落(または上昇)している状態が指定した期間以上継続した場合、シグナルを発生する、といったことが実行できます。この例では、1つ前の価格(終値)と比較し、下落している状態が3回続いたら、「買建て」を実行することになります。

これにより、先にイメージした「価格」がある程度下落したら、「買建て」を実行するを行う形となります。

2 ストラテジーをイメージしてみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

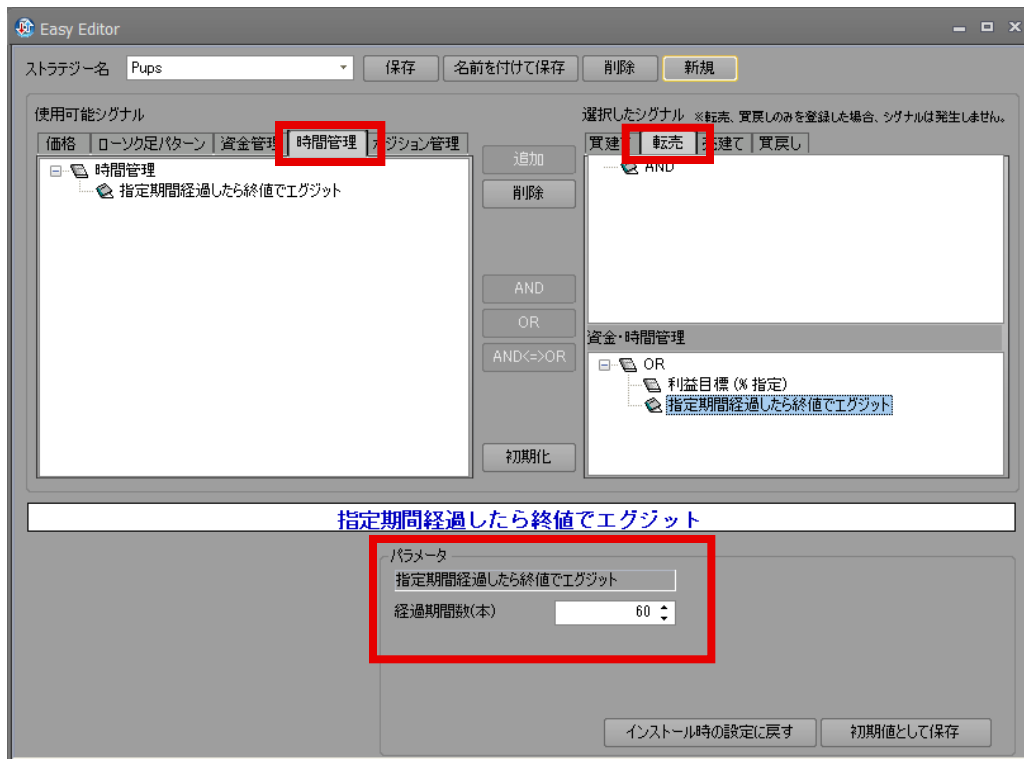
③ 買い建玉がある一定水準に達したら、またはある一定の時間が経過したら「転売」する



次に「転売」(買い建玉の決済)ですが、こちらもテクニカル分析では移動平均やMACD等をシグナルとして使用することができますが、決済タイミングが不透明だと思しますので、「資金管理」にて「利益目標(%指定)」を選択しています。「利益目標(%指定)」は建玉価格を基準に計算が行われます。この例では、買い建玉の価格から0.2%上昇したら「転売」を実行することになります。

2 ストラテジーをイメージしてみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.



さらに、「時間管理」から「指定期間経過したら終値でエグジット」を選択しています。こちらの用途としては相場が一方通行に下落し、利益目標に届かなかった場合を想定してロスカットとしての意味合いで設定しています。この例では、「買建て」が行われてローソク足が60本形成されたら「転売」を実行することになります。これにより、先にイメージした“買い建玉がある一定の水準に達したら、またはある一定の時間が経過したら「転売」を実行する”を行う形となります。これでイメージしたストラテジーの設定が完了しました。あとはEasy Editor上の「保存」ボタンを押下することで、ストラテジーの作成は完了となります。

2 ストラテジーをイメージしてみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

ストラテジーの保存が完了しましたら、一度Easy Editor画面を閉じて、ストラテジーを追加したいチャートを開きましょう。

シグナルチャート画面右上「チャート分析」をクリックしますと下記「チャート設定画面」が表示されます。

チャート設定

設定 | スタイル | プロパティ

通貨ペア
通貨ペア EUR/USD 買/売 買(ASK)

インターバルと期間
5 分足 - 1 ヶ月間 編集

期間指定
 1000 日間
 1 週間
 1 ヶ月間
 10 年間
 1000 パー
 2012/12/25 から

最終日
 最新の日付
 2012/12/25 まで

スケールタイプ
 画面に合わせる
 データ全体に合わせる
 ユーザー定義
最大
最小
 終値をチャートの中心に表示する

OK キャンセル

選択したストラテジーのバックテストを行うため、チャート表示条件の設定をします。

※ 通貨ペア・インターバルと期間・買/売・その他条件を選択します

この例では表示期間を1ヶ月としています。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

チャートを表示後、チャート上で右クリックし「ストラテジーの追加」⇒ストラテジーを選択、上記で作成した「Pups」選択後し、「OK」ボタンを押下します。



チャート上右クリック後、ストラテジーの追加をクリックします。

ストラテジーの追加

Easy Editor

ストラテジー名	検訂	買建て	転売	売建て	買戻し
Pups	*	*	*		
Sample01_APRB					
Sample02_SWHL	*	*		*	
Sample03_STCS	*	*		*	
Sample04_CCIC	*	*		*	
Sample05_CCIA	*	*		*	

ご注意:「転売」「買戻し」を設定した場合でも、「買建て」時における「売建て」、「売建て」時における「買建て」が発生したときに、それぞれの「転売」、「買戻し」が自動で発生します。

OK キャンセル

「OK」ボタンの押下後、「ストラテジーの設定画面」が表示されます。後々のパフォーマンスレポートによるバックテストやフォワードテストのためにも「オプション」ボタンより、当該ストラテジーの設定を行いましょう。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

設定できる内容の多くはパフォーマンスレポートに関連するものとなっておりますが、「ピラミディング設定」「アラートオーダー(サウンド)」「初期売買サイズ(数量指定)」に関しては、全自動取引の動作に影響するものとなります。

ここでは、「ピラミディング設定」「コスト/資本(手数料)」「初期売買サイズ(数量指定)」に関して、説明いたします。

① ピラミディング設定

ピラミディングとは、相場の状況に応じて、建玉を徐々に増やす方法となります。

この例では、Easy Editorにおいて、「買建て」に設定した内容が継続された場合、最大10回まで買建てが行われることを示しています。

系統的に「ナンピン(買い増し・売り増し)」が行われる、とイメージされたほうが分かりやすいかもしれません。

■ ピラミディングを利用するにあたって 3つの注意点

1. 相場変動リスクが増大すること

ピラミディングが実行されると、建玉は増えていきますので、その分だけ相場変動リスクが大きくなります。そのため、ピラミディングの設定を「有効」にする際は、リスク管理に注意を払う必要があります。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

2. 必要証拠金不足となった際は発注エラーとなること

ピラミディングを行ううえで、実行回数×数量指定分以上の必要証拠金を準備しておく必要があります。ピラミディングが継続して行われている過程で、証拠金不足となった場合、発注エラーとなります。

例:

差入証拠金 200,000円

必要証拠金 35,000円(10,000通貨あたり)

ピラミディング回数 10回

この場合、50,000通貨まで建玉されますが、60,000通貨以降は証拠金不足のため、新規注文が受け付けできずエラーとなります。

その後、決済のシグナルが発生した場合、ピラミディングの回数が7回以上行われていると、決済可能数量を超えるため、決済注文が受け付けできずエラーとなり、先に建てた60,000通貨はそのまま残ることになります。

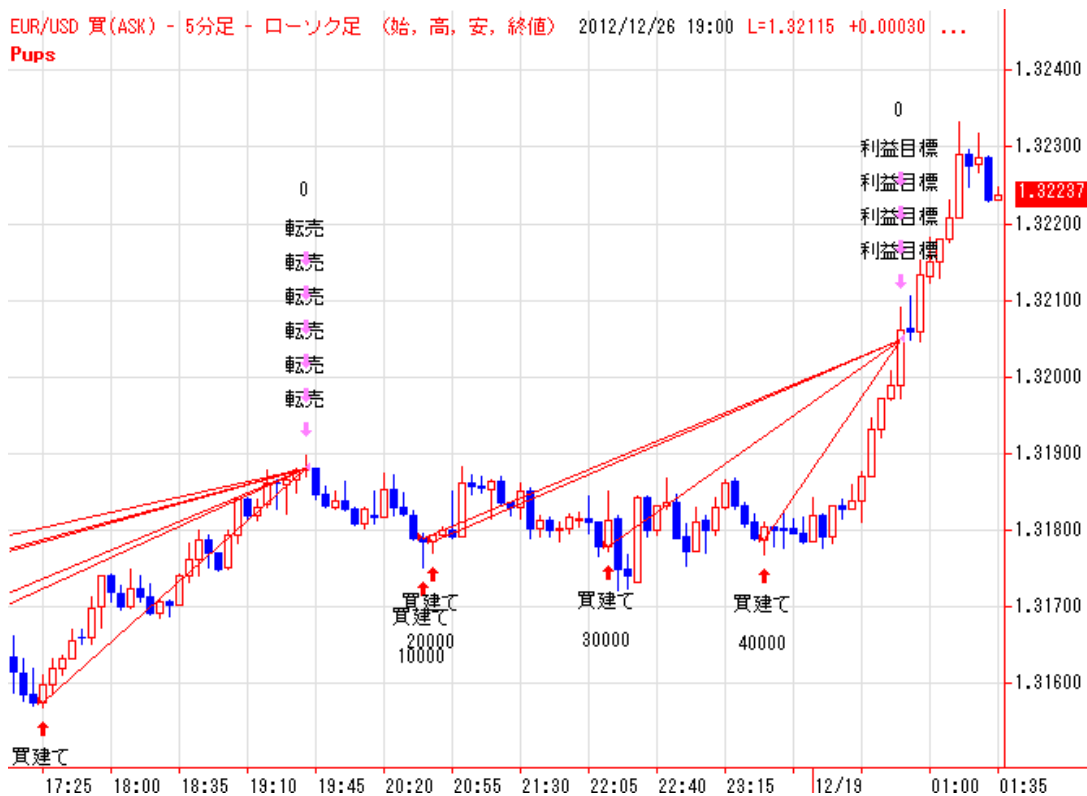
ピラミディングの設定を「有効」にする前に、お取引される通貨ペアの証拠金と数量をよく確かめる必要がありますので、ご注意ください。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

3. 全自動取引実行時に建玉の調整が必要になること

ピラミディングの設定を「有効」とした場合、全自動取引を「ON」するタイミングによっては、建玉を調整する必要があります。



ピラミディングの設定を「有効」とした場合、チャート上に表示されるシグナルは、上記のようになります。この場合、「買建て」の下部に数字がありますが、「買建て」が連続して行われ、数字が積み上がっているのが分かります。

まだ「買い建玉」がない状態で全自動取引を「ON」にする分には問題ありませんが、「買建て」が30,000を示しているところで、全自動取引を「ON」にした場合、次の「買建て」の40,000のところ、初めて新規注文が発注されるため、この段階では実際の建玉は10,000通貨となります。そして、その後の転売では40,000通貨の決済注文が発注されますが、実際の保有建玉数の10,000を超えるため、決済注文がエラーとなり、当初新規建てした10,000通貨はそのまま残ることになります。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

この状況の対応としましては、全自動取引を「ON」にするタイミングで事前に建玉を調整する（上記の場合では、事前に30,000通貨建てしておく）、あるいは決済のシグナルが発生した後に全自動取引を「ON」にする必要がありますので、この点も併せてご注意ください。

② コスト/資本(手数料)

この項目は、パフォーマンスレポートに大きく影響します。パフォーマンスレポート上の損益計算は、スプレッドを考慮されておりません。そのため、「コスト/資本(手数料)」の「手数料」項目を使用し、(概算ではありますが)実勢に近い形で損益計算の結果を把握することができるようになります。「手数料」項目の単位ですが、通貨ペアが対円の場合は「円」、対ドルの場合は「ドル」となります。USD/JPYのスプレッドが0.5pipsの場合、50円が手数料相当分のスプレッドとなりますが、この「手数料」項目は売買毎で計算が行われるため、「25」と入力する必要があります。

③ 初期売買サイズ(数量指定)

全自動取引を行う際の取引数量は、こちらの「数量指定」項目にて設定する形となります。デフォルトは「1」となっておりますが、お取引される数量を任意に入力していただきます。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

オプションの設定が完了しましたら、「ON」を押下し、ストラテジーの設定画面に戻ります。
ストラテジー設定画面でさらに「OK」を押下することで、チャート上にストラテジーを展開
ことができます。



チャート上にストラテジーを展開しましたら、画面上部の「ツール」から
「パフォーマンスレポート」を押下します。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

チャート上にストラテジーを展開しましたら、画面上部の「ツール」から「パフォーマンスレポート」を押下します。

シグナルチャート パフォーマンスレポート EUR/USD 買(ASK)(Pups) - 5 分足

要約 分析 トラッキングレコード 期間報告書 資金グラフ トレードグラフ 設定

パフォーマンス要約

EURUSDS:EUR/USD 買(ASK) - 5 分足 期間: 2012/11/26 ~ 2012/12/26

パフォーマンス要約

	全体	買いトレード	売りトレード
合計損益	1,052.60	1,052.60	0.00
未決済建玉損益	139.50	139.50	0.00
トレード回数合計	372	372	0
トレードあたり平均損益	2.83	2.83	計算不能
勝ちトレード回数	210	210	0
負けトレード回数	162	162	0
最大連続勝ちトレード数	15	15	0
最大連続負けトレード数	14	14	0
勝率	56.45%	56.45%	0.00
総利益	3,057.90	3,057.90	0.00
総損失	-2,005.30	-2,005.30	0.00
プロフィットファクター	1.52	1.52	計算不能

この「パフォーマンスレポート」によって、シミュレーションではありますが、このストラテジーの「価値」を読み取ることができます。この例では通貨ペアはEUR/USDとなりますので、損益の単位は「ドル」（通貨ペアが対円の場合、単位は「円」となりますので、2012年11月26日から2012年12月26日現在までの期間損益は1,052ドル60セントとなります。

勝率は56.45%でプロフィットファクターは、1.52とまずまずの結果が得られたと思います。

※ 合計損益は、「ストラテジーの設定」よりスプレッド分が考慮されています。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.



「資金グラフ」を押下することで、ストラテジーの結果をグラフで確認することができます。この例では、いくつかのドローダウンがありました、その後の相場状況により、持ち直していることがうかがえます。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.

作成したストラテジーを異なった通貨ペアで見てみるのも面白いと思います。この例ではEUR/USDでしたが、これをEUR/JPYにしてみると次の結果となりました。

シグナルチャート パフォーマンスレポート EUR/JPY 買(ASK)(Pups) - 5 分足

要約 | 分析 | トラックレコード | 期間報告書 | 資金グラフ | トレードグラフ | 設定

パフォーマンス要約

EURJPYS:EUR/JPY 買(ASK) - 5 分足 期間:2012/11/26 ~ 2012/12/26

パフォーマンス要約

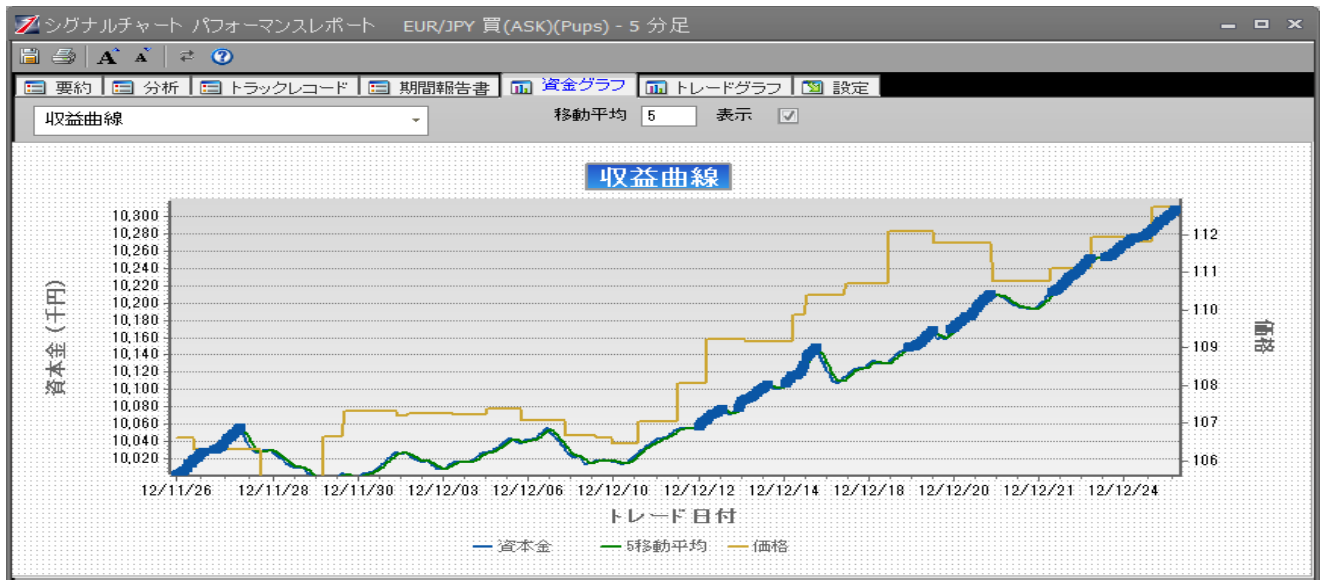
	全体	買いトレード	売りトレード
合計損益	307,990.00	307,990.00	0.00
未決済建玉損益	250.00	250.00	0.00
トレード回数合計	483	483	0
トレードあたり平均損益	637.66	637.66	計算不能
勝ちトレード回数	336	336	0
負けトレード回数	147	147	0
最大連続勝ちトレード数	28	28	0
最大連続負けトレード数	13	13	0
勝率	69.57 %	69.57 %	0.00
総利益	560,370.00	560,370.00	0.00
総損失	-252,380.00	-252,380.00	0.00
プロフィットファクター	2.22	2.22	計算不能

2012年11月26日から2012年12月26日現在までの期間損益は307,990円となります。勝率は69.57%でプロフィットファクターは、2.22とかなりの好結果となりました。

※ 合計損益は、「ストラテジーの設定」よりスプレッド分が考慮されています。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.



「資金グラフ」でストラテジーの動きを確認すると、直近での円安とユーロの独歩高により、得られたパフォーマンスであることがうかがえます。こうした結果がいつまでも続くとは限りませんが、現時点では有効なストラテジーと言えるかもしれません。

シグナルチャート パフォーマンスレポート GBP/JPY 買(ASK)(Pups) - 5 分足

要約 分析 トラックレコード 期間報告書 資金グラフ トレードグラフ 設定

パフォーマンス要約

GBPJPYS:GBP/JPY 買(ASK) - 5 分足 期間: 2012/11/26 ~ 2012/12/26

	全体	買いトレード	売りトレード
合計損益	110,270.00	110,270.00	0.00
未決済建玉損益	420.00	420.00	0.00
トレード回数合計	419	419	0
トレードあたり平均損益	263.17	263.17	計算不能
勝ちトレード回数	242	242	0
負けトレード回数	177	177	0
最大連続勝ちトレード数	36	36	0
最大連続負けトレード数	20	20	0
勝率	57.76%	57.76%	0.00
総利益	435,340.00	435,340.00	0.00
総損失	-325,070.00	-325,070.00	0.00
プロフィットファクター	1.34	1.34	計算不能

GBP/JPYです。2012年11月26日から2012年12月26日現在までの期間損益は110,270円となります。勝率は57.76%でプロフィットファクターは、1.34とこちらもまずまずな結果が得られました。

※ 合計損益は、「ストラテジーの設定」よりスプレッド分が考慮されています。

3 作成したストラテジーのパフォーマンスを見てみよう

au Kabucom Securities Co., Ltd. All rights reserved.



「資金グラフ」でストラテジーの動きを確認すると、ドロウダウンがしばらく続いた後、持ち直して、しっかり利益を伸ばしていることがうかがえます。以上により、パフォーマンスレポートを活用することで、作成したストラテジーの「価値」が見えてきます。

■ 作成したストラテジーをシグナルチャートに追加したら、全自動取引を始めることができます。全自動取引開始方法につきましては、「システムトレードツールスタートマニュアル」のP13をご参照ください。

■ 全自動取引を行うにあたっての注意事項

- ・ シストレFXナビゲータ及びシグナルチャートは、お客様のパソコン上で動作するツールとなるため、シストレFXナビゲータ及びシグナルチャートからログアウト(閉じる)すると、全自動取引は「停止」となりますので、ご注意ください。
- ・ Tickチャートでの全自動取引は、短時間で売買シグナルが発信されるため、新規発注後、スプレッド以上の評価益が出る前に決済される可能性があります。短期取引の場合は、スプレッド分のコストを考慮していただく必要があります。

- ・外国為替証拠金取引（シストレFX®、くりっく365）は、元本や利益（スワップポイントを含む）を保証するものではありません。外国為替相場や各国通貨の金利の変動等により、元本を割り込むおそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引（シストレFX®、くりっく365）は、お客さまがおこなう取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）おそれがあります。
- ・取引対象通貨ペアの選択で、より高金利の通貨を売り付ける場合、スワップポイントの支払いが発生します。スワップポイントは、取引対象通貨の金利変動により受け取りから支払いに転ずることもあります。
- ・当社またはカバー先の業務や財産の状況の悪化等により意図する取引が執行出来ず損失を被る場合もあります。
- ・外国為替証拠金取引（シストレFX®、くりっく365）では、証拠金額が一定の割合を下回ると「ロスカットルール」により強制的に反対売買がなされますが、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、短期的に予測に反する方向へ大きく向かった場合、証拠金の大部分あるいは証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引（シストレFX®、くりっく365）では、相場状況の急変によりスプレッド幅（売値と買値の差）が広がる場合があります。
- ・外国為替証拠金取引（シストレFX®、くりっく365）をおこなうにあたって、お客さまが預託しなければならない必要証拠金は次のとおりです。

[シストレFX®]

個人口座：取引金額の4%以上（レバレッジの上限は約25倍）

法人口座：金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額以上（為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです）。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。

・各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ（<https://kabu.com/cost/>）等をご参照ください。

●掲載情報は2020年4月16日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ（<https://kabu.com/>）にてご確認ください。

auカブコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可：関東財務局長(銀代)第8号

電子決済等代行業者登録：関東財務局長(電代)第18号

加入協会：日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会

